

平成25年度 上春別中だより《卒業生用》

# みずなら



＜発行責任者＞  
校長 田中 彰  
(3月14日 発行)

＜ 教育 目 標 ＞

知性を磨き 心豊かに 逞しく

＜ 校 訓 ＞

自主 協調 実践

＜ めざす生徒像 ＞

自ら感じ 考え 行動する生徒

学校のブログもご覧下さい <http://b-school.jp/blog/skamisyn/index.php>

## 3年生の皆さん卒業おめでとう

入学したときは、全校生徒が12名で皆さんがその半分を占めていました。3年生になって全校生徒は倍の25名になりました。先生方も倍に増えて、色々な意味で皆さんは上春別中学校の変革の時代を過ごしたのだと思っています。

この2年間、皆さんと過ごせて大変幸せでした。皆さんは一人ひとりが大変個性的でありながらも優しさと思いやりを持ち、常に礼儀正しく学校生活を過ごしていました。この学校に来て、皆さんの姿勢のよさや先生方への対応の仕方を見て感動を覚えたほどです。

みなさんは小さいときから一緒に、お互いの長所も欠点も理解したうえで仲良く過ごしてきましたが、卒業して新たな仲間作りに取り組む時期です。たくさんの知らない生徒と一緒に、お互いを知ることから始めればなりません。

厳しいようですが、全ての人が思いやりを持って接してくれるとは限りません。高校では新たな人間関係を作り上げ、他人との付き合い方を学ぶ事になります。それが一歩大人に近づいたということだと思います。

長いつもりで短いのが人生  
短いつもりで長いのが青春  
遠いつもりで近いのが因縁  
近いつもりで遠いのが血縁  
固いつもりで軟らかいのが結束  
軟らかいつもりで固いのが思考  
熱いつもりで冷たいのが人気  
冷たいつもりで熱いのが恋心  
辛いつもりで甘いのが自評  
甘いつもりで辛いのが人評

皆さんの入学式のときに当時の亀井校長先生が「明日の自分のために今日頑張れる人」を目指してほしいという話をしたと思います。高校に入学すると、それは「社会に出る自分のために、今頑張れる人」という言葉になると思います。



そのためには目標を持ち、自分ができることを丁寧に取り組み続けることが必要なのです。

環境が変わることにはメリットもあります。今まで小学校からの付き合いの中で、無意識でも、お互いに役割分担を決めてしまったり、自分を変えるきっかけが掴めない時など、高校という新しい人間関係の中で自分を変えたり、新しいことに挑戦していけるきっかけとなり得るからです。

皆さんは本日で義務教育を終了(但し籍は3月いっぱい中学生です)する事になります。義務教育を終えるということは、皆さんの義務ではなく、保護者が子供に勉強させる義務を終えるということです。今までは、皆さんは勉強する権利があって、保護者は勉強させる義務があったのです。

その義務教育が終わって高校に進学するという事は、皆さんの権利ではなく、保護者の協力のおかげなのです。高校に行かせてくれるのが当たり前と思うのは間違いです。保護者に多大な経済的負担をかけてもらって進学するという意識はしっかり持ってください。皆さんの保護者は子供のためにと頑張って支えてくれます。

本日は、皆さんが卒業おめでとうと祝ってもらえると同時に、保護者に「義務を果たしてくれてありがとう。これからもお願いします。」と言うべき日なのだと私は思っています。

祝ってもらおうという気持ちから保護者に感謝して新たなスタートの意欲付けをする日にしてもらいたいと考えています。

最後に、これからは一人ひとりが自分の力で頑張り、問題に対応していく力が求められます。でも、辛かったり問題が大きかったりして手に余る時には遠慮なく保護者や中学校の先生を頼ってください。きっと適切なアドバイスをくれることと思います。

上春別という地域で育ち、地域を愛して様々な行事に積極的に関わってくれた皆さんに校長先生からも「ありがとうございました」とお礼を言わせてもらいます。**みんな頑張れ!!**



修学旅行は本当におもしろくて楽しかった。引率した修学旅行の中でも一番楽しい修学旅行だと思っています。10年後の皆さんはどんな大人になっているのか楽しみです。